雲　南　寸　描

≪2008年～2011年の雲南Field Work から≫

1.「西域」から「崑崙」へ （故郷への旅路）

2.「雲南」へ （タイ族への想い、出逢い）

（1）民族文化生態村Project（5箇所）
（2）雲南のタイ族、タイ文化圏の存在
（3）少数民族の婚姻事例…立ち話、中国法制研究会
（4）今次大戦に於ける雲南の戦い（援蒋ルート遮断）

ＡＡＣＫ
前 田 栄 三

夢・遥かなる憧憬の旅路、初登頂

西域・崑崙、そして雲南へ

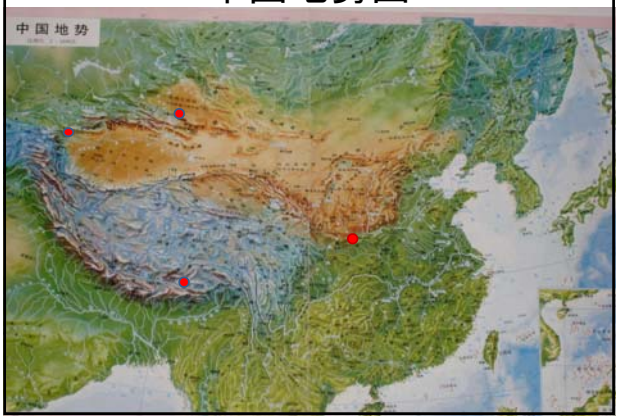
涼州詞　王翰

葡萄美酒夜光杯
欲飲琵琶馬上催
醉臥沙場君莫笑
古来聖戦幾人回

渭城朝雨浥軽塵　王維

客舎青青柳色新
勧君更尽一杯酒
西出陽関無故人

中国地勢図



西安/ 西の大門・安定門

崑崙山脈の未登峰へ

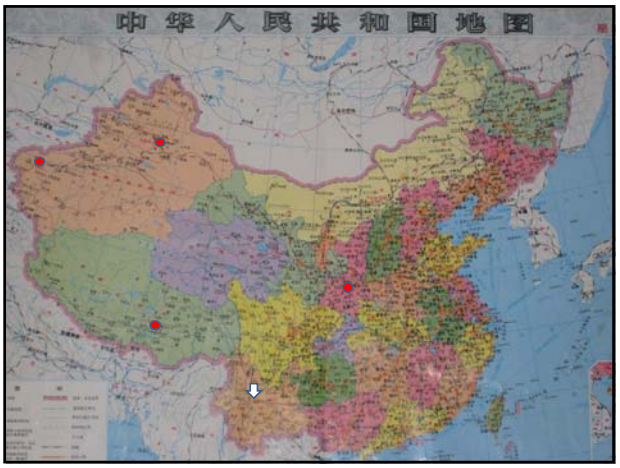
カシュガルから、高所順応の一環としてタシュクルガンを往復。石頭古城、城址に立つ。
西域南道の街・葉城（イエチェン）から新蔵公路に入り、クディ、マザー、三十里営房を経て大紅柳灘にBCを置く。

千載秋の水清く
銀漢空に冴ゆる時
通える夢は崑崙の
高嶺の彼方ゴビの原

（第3高等学校寮歌）

新蔵公路から北方、ユメムスターグを望む

Aksai Chin；カシミール地域の1部。1962年の中印国境紛争以降、中国の実効支配下にある。
領有権を主張するインド側の呼称ではラダック。正確にはラダックの1部



雲南、昆明、寸描

左上： 移動は全て雲南大学のバスを使用。　　左下： 雲南大学尹紹亭教授ご夫妻と会食。
中上： 訪問先の村での昼食会後の記念撮影。　中の2枚： 孔雀の舞と少数民族の踊り(伝承)
右上： 中国科学院昆明植物研究所にて。　右下： 同研究所吉野照道客員教授夫妻と会食。

そして雲南へ

梅里雪山峰/慰霊の旅、援蒋ルート戦跡/鎮魂の旅、そして…。

雲南のタイ族；バンコクから昆明、そしてチェンマイからシーサンパンナ(景洪)へ

日本人 の 心のふるさと、民族のルーツ、稲の道・・・
笑顔、笑顔、そして笑顔、歌・酒そして踊り、更に・・・

図1．タイ文化圏概略図

新谷原図より眞島建吉作成。

国境なき山地民

チベット族の跳神節（チャム）の踊り、2005年10月

タイ族の娘

苗族の葬儀、2008年11月

チベット族に見る婚姻の例

≪一妻多夫≫

ーチベット仏教寺院・松賛林寺を前にしてー

中国法制研究会の発足

1950年婚姻法、80年01年改正
一夫多妻・一妻多夫等の廃止
「弾力的補足的規定」の存在

民族慣習法と国家法

雲南の戦い ー援蒋ルートー

芒市～龍陵～松山（拉孟）、騰沖、恵通橋、保山～昆明

雲南の戦い ー蒋介石総統の逆感状ー

（保山市博物館の展示パネルより）

战役名称	作戦时间	日军伤亡	我军伤亡	对比
滇江攻击战	1944.5.1—6.21	605 人	1986 人	1：3.28
腾冲围歼战	1944.6.22—9.14	3075 人	18236人	1:5.93
松山攻坚战	1944.6.24—9.7	1280 人	7600 人	1:5.94
平达、象达侧翼战	1944.5.11—9.22	523 人	802 人	1:1.53
龙陵争夺战	1944.6.5—11.3	10620人	28384人	1:2.67
芒市、畹町追歼战	1944.11.13—45.1.20	4954 人	10645人	1:2.1
合计	1944.5.11-45.1.20	21057人	67430人	1:3.2

参考文献 ；「雲南抗日戦争史」（孫代興，呉宝璋主編　雲南大学出版部）

怒江（サルウイン河）

恵通橋

竜陵市街に残るトーチカ

今もそこかしこに残る塹壕

もう一つの雲南の戦い

中 越 戦 争

中越戦争（1979年2～3月）で戦場となった国境の街、
金平県金水河と紅河河畔の河口

中越戦争（1979年2～3月）で戦場となった国境の街 金平県金水河と紅河河畔の河口（下段の中央）

文化的交流

これから

1. 雲南に見る西部大開発の行く末
2. メコン経済圏、エネルギー事情と展望
3. タイ文化圏（国境なき山地民）探訪
4. 伝統文化・風俗習慣の発展的保存